

鉄道友の会

西鉄研究会報

VOL.2

2015年8月23日号

【8000形の世界遺産ラッピング電車】



福岡県内の複数の施設がユネスコの世界文化遺産登録を祝い、西鉄は7月31日から、天神大牟田線でラッピング電車の運行を始めた。

ラッピング電車は8000形（6両1編成）の8011～8016で、両サイドに「祝、明治日本の産業革命遺産、世界文化遺産登録」とアピール。福岡（天神）～大牟田間を来年8月31日まで走る予定。



【旧筑紫駅で慰霊式】

戦後70年の今夏。太平洋戦争末期、西鉄筑紫駅近くを走行していた電車がアメリカ

軍戦闘機の機銃掃射を受け多数の犠牲者を出した8月8日、慰霊式にあたる「筑紫平和シンボル行事」が筑紫野市の筑紫コミュニティセンター横の旧筑紫駅待合所の前であり、参列した関係者や地域の人たちは平和への誓いを新たにしました。

同平和行事では、学徒動員で西鉄電車の運転士を務め、銃撃された電車にいち早く駆けつけたという山口義光さん（85歳）は慰霊の言葉を述べた後、「銃撃された電車は血だらけだった」と悲惨な状況を語った。

西鉄筑紫駅列車銃撃は1945（昭和20）年8月8日午前11時半ごろ、筑紫駅に停車しようとしていた下り電車と、同駅に向かっていった上り電車にアメリカ軍戦闘機が機銃掃射し、乗客約60人以上が死亡し約100人以上が負傷したといわれている。同駅待合所にも銃弾の痕が残っている。

同待合所は今年、完成した保存施設の中に移設された。同市の藤田陽三市長は「戦災を次世代に語り継ぐことは重要」と同待合所保存の大切さを強調した。

このほか、西鉄では大牟田空襲で栄町駅焼失や福岡空襲で本社焼失と市内線に被害、また、北九州の市内線も空襲被害を受けている。



【例会案内】

8月30日（日曜日）午後2時から、雑餉隈駅近くの「さざんぴあ博多」で例会を開きます。

①本部総会報告 ②「西鉄研究会誌」発刊 ③西鉄電車まつり写真展に出品写真（西鉄、筑鉄、旧駅舎）を5～10点（デンタルデータ）で持参お願いします。ご出席をよろしくお願いします。（松嶋）